

松中だより

京都市立松原中学校

1月号

《教育目標》 自律・友愛・創造

「自らを律し、なかまを大切に、創造性豊かな人」

自らを鍛え、責任ある行動をとり、互いの立場を認め合い、ともに支え合い、高まりあう「なかまづくり」ができ、自らの「夢の実現」に向けて、何事にもチャレンジする創造性豊かな生徒の育成を目指す。

本校のHP…<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=201407>

校内の剪定作業

12月5日（月）に全教職員で校内の剪定作業と校門を入ったところの電飾の設置も行いました。



平成28年12月22日発行

文責 宮田 功



トリ年について

2017年（平成29年）の干支は、酉年です。酉は鳥ですが、実際には「にわとり」のこと意味するようです。年賀状にもたくさんの鳥が描かれていると思いますが、にわとり以外の鳥が描かれていることはありませんか。十二支の「酉（とり）」は「鶏（にわとり）」が正しいので、知っておいてくださいね。

さて、鶏は、明け方に鳴く鳥です。夜が明けたら「コケコッコー」というのは、テレビなどでもよく見かけますね。新年も一番に鳴く鳥のため縁起が良いとされています。さらに商売関係に縁起のよい干支ともされています。「とり→とりこむ」で、商売に繋がるとされています。行動力があり積極的とか、親切で世話好きであるという意味もあるようです。ところで「酉」という漢字は普段は見慣れません。なぜ、いつも使っている「鳥・鶏」ではなく「酉」なのでしょうか。

干支の十二支は、12のすべてが動物で表されています。お正月に飾る置物も動物で1年間飾られることもあります。このように干支が動物であることは、かなり定着しています。しかし、動物での表し方は「後付け」ということを知っていますか。十二支は中国で生まれ、十干という10の要素と組み合わせることで、年月や時間、方角を示す役割を担っています。そもそも始めは、十二支と動物は全く関係ないものでした。実は、世間に広く認知させる目的で動物が割り当てられました。十二支の動物は、覚えやすくするための工夫なのです。確かに現在では、十二支の動物はかなり人

《裏に続きます》

日	曜	行事等
1	日	元旦
2	月	振替休日
3	火	学校閉鎖日（12月29日～）
4	水	
5	木	冬季休業終了
6	金	第Ⅲ期開始 全校集会 避難訓練
7	土	
8	日	
9	月	成人の日
10	火	給食〆切 ミラスタ 17:30～（「ミ」）
11	水	美化点検（～13日）
12	木	私学願書提出 職員会議 「ミ」
13	金	
14	土	
15	日	光徳冬まつり
16	月	5限研究授業 部活再登校 14:30～
17	火	「ミ」
18	水	
19	木	評議専門委員会 「ミ」
20	金	
21	土	3年土曜学習会
22	日	
23	月	3年第五回定期テスト（～25日）
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	放課後 3年面接練習①
28	土	
29	日	
30	月	放課後 3年面接練習②
31	火	2年4.5.6限確認プロ



に浸透しています。もともと十二支は、「子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥」と表す農業用語であって、1年の12ヶ月の果実の成長過程を表していました。十二支の十番目が「酉」で、1年では10月にあたります。酉である10月の時期は、果物がどんな状態になるでしょうか。この時期は、果実が極限まで熟した状態となります。「酉」という漢字は酒つぼを描いたもので、「酒」に関する字に使われています。収穫した作物から酒を抽出するという意味や、収穫できる状態であることから「実る」ということも表します。そのことから、果実が成熟した状態を表しているとされました。

この「酉」に、「にわとり」の名前を付けてはいますが、「酉」と「にわとり」とは、本来はどうも無関係のようですが、ただ、「後付け」でも無関係であっても現代は、「酉」は「にわとり」として定着しています。

★酉年にちなんで、故事成語「木鶴に似たり」について 【鶴に関する中国の古典を紹介します。】

中国の「莊子」という本の中に「木鶴」という有名な話があります。昔、紀省子という鬪鶴を育てる名人がいました。この名人が、王様の持っている一羽の鬪鶴を鍛えあげていきました。(「鬪鶴」とは、雄鶴を鬪わせる競技です。古代中国、インド、ペルシア、ギリシアで流行し、賭けの対象となり、世界各地で行われるようになりました。)

元来、王様はせっかちなものです。王様が10日ほどたって、「どうだ、もう鬪わせててもいいか」とたずねてきました。彼は、『いや、まだです。今は、カラ元気で威張っているところです。』と返答しました。もう10日ほどして、「どうだもういいか」と王様に聞かれても、彼は、『いや、まだです。他の鶴の声を聞いたり、姿を見たりすると、すぐに飛びかかるうとします。』といいました。さらに10日たって、『まだいけません。相手を見るとにらみつけて怒り立つ様子がありますから話になりません』さらに10日たって、また王様がたずねました。すると、『もうよろしいでしょう。敵の鶴が鳴いても、態度を変えません。遠くから見ると、まるで木彫りの鶴のようです。その徳は充実して保たれております。こうなっては他の鶴は戦うこともできず、逃げ帰ってしまいます。』その後、実際に鬪わせてみると、彼の鍛えた鬪鶴を見るだけで、ほかの鬪鶴は鬪わずして逃げてしまいます。

この寓話には、4つの教訓があると言われています。その一つは「『競わず』という事で、むやみによけいな競争心をかりたてない」ことです。二番目は、「『てらわず』と言うことで、自分を自分以上に見せない。虚勢はダメ」ということ。三番目は、「『瞳を動かさず』絶えずあたりを気にしてキヨロキヨロ見回さない。落ち着きが大切。」ということです。四番目が、「木彫りの鶴のように、静かに自己を見つめることの大切さ」を知らせるものだそうです。

現在の「木鶴に似たり」は、①敵意を持たない人に対しては、これに反抗する者はない。②真に強い者は、敵に対して少しも動じないものだということ。このような意味で使われています。

新人戦の結果（卓球部）	新撰組探訪	PTAフェスティバル
11月6日（日）1年生大会 団体Bブロック予選 男子2位通過・女子予選敗退 11月13日（日）新人戦団体 Bブロック予選 男子予選敗退・女子1位通過 11月27日（日）新人戦全市大会 1年生大会男子団体3位 女子団体 5位	12月3日 (土)に、 学校運営協 議会の皆さ んが、地域 にある新撰 組ゆかりの史跡を案内して下さいました。希 望者のみの参加ですが、生徒とともに保護者 の方も参加いただきました。	12月10日（土）に開催されましたが、 本校のPTA壁新聞が、昨年度に続いて 優秀賞に選 ばれまし た。(ご協力 いただいた 方のご努力 が、認めら れました。)

茶道体験	小六の中学校体験、オープンスクール
12月6日（火）の放課後、家庭科部 で茶道体験が実施されました。地域に 住まわれる 西村葉子様 のご協力で、 いい経験が できました。	12月8日（木）に朱雀第三小学校と光 徳小学校の6年生が本校に来てくれま した。次年度の入学に備えて、中学校を 体験するためです。生徒会から、中学校 生活についての説明を受けたあと、各生 徒の希望した教科を受け、その後に、 部活見学と体験を行いました。

平成28年度 中学生の「税についての作文」	絞り染め体験
本校から3名が表彰されました。 京都府納稅貯蓄組合総連合会会長賞…古川はるさん 中京納稅貯蓄組合連合会会長賞…堺あかりさん 中京納稅協会長賞…桶本胡桃さん	12月13日（火） に伝統文化教育と して1年生で実施 しました。